

北海道中央労災病院 地域連携ニュース

血管造影検査装置更新のご案内

当院では標記装置を更新し、昨年 12 月 28 日に運用開始いたしました。その特徴などを以下にご紹介するとともに、この機器を広く地域の医療機関・施設の皆様にもご活用いただきますようご案内申し上げます。

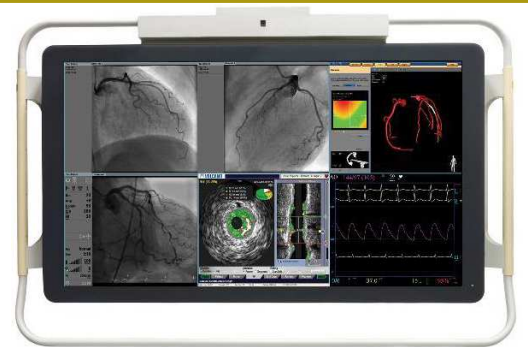
最新鋭の血管造影検査装置のご紹介

・血管造影検査装置について

カテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入し、造影剤を用いて冠動脈や心室の検査を行う装置です。

・カテーテル治療について

造影検査を行い狭窄が認められた場合は、バルーン（風船型）やステント（金属メッシュ）と呼ばれる筒を血管に挿入し、狭くなっている血管内を広げます。



オランダ フィリップス社製

・最新の画像処理技術

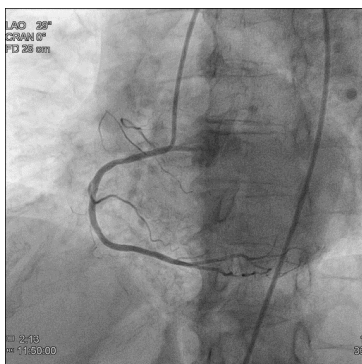
画像処理技術の向上により、心臓領域に特化した画像が得られます。

・被ばく線量の低下

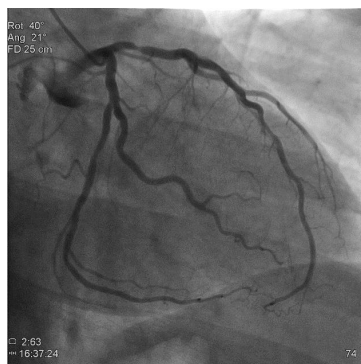
X 線利用効率向上により、患者さんの被ばく線量が低下します。

・検査効率の向上

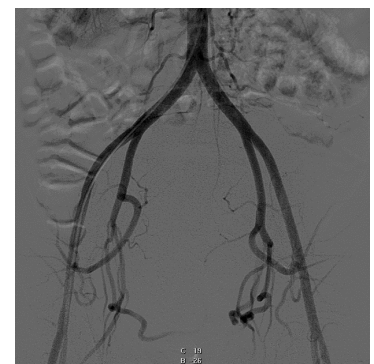
高精細大型モニターの導入により、術中の視認性が向上します。



右冠動脈



左冠動脈



腹部血管

北海道がん診療連携指定病院・日本医療機能評価機構認定病院

独立行政法人 労働者健康安全機構

北海道中央労災病院 地域医療連携室

〒 068 - 0004 岩見沢市 4 条東 1 6 丁目 5 番地

<http://www.hokkaidoh.johas.go.jp>

電話 0126-22-1300 (代表)

FAX 0126-22-7771 (直通)



日本医療機能評価機構